

令和 8 年度第 1 回地域連携推進会議 施設訪問記録

1. 実施状況

事業所番号	0120301544									
共同生活住居名/ 障害者支援施設名	いこーる N235									
施設訪問日時	令和	8	年	3	月	27	日	金	曜日	18:50 ~ 19:00
住居/施設住所	いこーる									
出欠状況	構成員種別	出席		欠席		備考（欠席理由等）				
※利用者・利用者 家族・地域の関係 者は必須参加者で す。 ※福祉に知見のあ る人・経営に知見 のある人はどちら か1名の参加が必須 です。	利用者	1	名		名					
	利用者家族	1	名		名					
	地域の関係者		名	1	名					
	福祉に知見のある人	1	名		名					
	経営に知見のある人		名		名					
	事務局（施設職員）	2	名		名					

2. 構成員からの質問、意見、感想等

意見・感想 利用者

- ・10階建ての大規模マンション内での生活は、一般の暮らしに近く安心感がある。
- ・自室が主に10階と4階に分かれていることで、静かな環境は確保されている一方、移動の手間や孤立感を感じる可能性もある。
- ・共用スペース（412号室）があることで、交流の場は確保されているが、居室階との距離によっては利用頻度に影響が出ると感じた。

意見・感想 利用者家族

- ・一般入居者と混在していることで、社会性を維持・向上できる環境として評価できる。
- ・一方で、居室が複数階に分散している点については、職員の目が行き届くかどうかやや不安を感じた。
- ・共用スペースが1か所に集約されているため、交流の機会が意図的に作られている点は良いと感じた。

意見・感想 福祉に知見

- ・90室規模のマンション内で複数事業所が運営されている点は、都市型グループホームとして合理的な形態である。
- ・利用者居室が4階・10階に分散している構造は、プライバシー確保や少人数支援には有効だが、支援動線の効率性には課題があると考えられる。
- ・共用スペース（412号室）が中間階に配置されている点はバランスが良いが、エレベーター依存の動線であるため、災害時のリスク管理が重要と感じた。
- ・他グループホームとの併存は、支援ノウハウの共有や相互補完の可能性がある一方、責任区分の明確化が必要である。

- ※ 複数の共同生活住居を設置している場合、共同生活住居ごとに1ファイルとして作成してください。
- ※ 施設訪問を複数回に分散して実施した場合、訪問日ごとに1ファイルとして作成してください。
- ※ 取りまとめの都合上、行や列の追加・削除等の変更は行わないでください。